

あいさつでつなごう  
地域のきずな

こんにちわ



# 総合防災訓練

## 地域のつながりを求めて445名が参加

真冬、心配された天候も小春日和を思わせる好天に恵まれて防災訓練を無事開催することができました。

当日は、やまびこネットワークの構成団体の他に、生駒市や消防署（消防団）、吉分小学校、同PTA、健康づくり推進委員さんの協力のもと、445名の参加を得て盛会裏に終わることができました。

この訓練を契機に「天災は忘れたころにやってくる」「備えあれば憂いなし」等の名言をしっかりと胸に刻み込んで、安心・安全が実感できる街づくりを更に進めていきましょう。

### 参加者の声(つぶやき)

- このような訓練は、必要ですね。今日は大変いい経験をさせていただきました。
- てんぷら油に火がはいった時の消し方、迫力がありました。とても参考になりました。あの小型消火器（スプレー式）はどこで売っているのですか？
- 豚汁もアルファ米も、おいしかったです。作ってくださった方に感謝、感謝。
- やまびこネットワークの「あいさつ運動」は知っていましたが、こうした防災訓練もして下さるのですね。
- AEDの訓練、はじめて体験しましたが実際にそのような場に直面した時、とっさに使えるかどうか心配です、今のところ自信がありません。
- 消防車の放水訓練、「かっこよかった！」

### 新聞もとりあげてくれました

生駒市立吉分小学校  
区の住民でつくる「や  
まびこネットワーク」  
（清水泰之代表）は25  
日、同市吉分町の同校  
で、総合防災訓練を突  
施した。住民ら約44  
0人が参加。災害に備  
えて、さまざまな取り  
組みを行った。  
同団体は校区内の民  
生児童委員、自治会、  
学校のPTAなどで構  
成。あいさつ運動を通  
じたまちづくりを行っ  
ている。防災訓練は今  
回が初めてで、地震災  
害を想定して実施され  
た。  
参加者は各地域から

### 住民440人が防災訓練



水の入ったバケツをリレーする参加者ら＝25日、生駒市吉分町の吉分小

経路を確認しながら避  
難所に指定されている  
同校へ移動。バケツリ  
レーやAED（自動訓  
練）の体験、炊き出し訓練を  
行った。  
清水代表は「防災訓  
練を通じて住民が交流  
し、地域の絆が深まれ  
ば」と話していた。

平成27年1月29日付奈良新聞

練を通じて住民が交流し、地域の絆が深まれば」と話していた。

# 「支え合い・つながり」の大切さを実感!



■豚汁・アルファ米の調理  
450人分を作りました。



■豚汁とアルファ米の試食  
みんな、その美味しさにびっくり。



■バケツリレー  
子どもも大人も力を合わせてバケツリレー。  
協力することの大切さを学びました。



■消火訓練  
燃え盛るテンプラ油を小型消火器(スプレー式)  
で消す訓練。  
迫力満点の訓練でした。



■AEDを使っての人命救助訓練  
子どもも参加。初期対応の大切さと  
命の尊さを実感しました。



■消防車による放水訓練  
身近に見る放水訓練にみんな見入っていました。



参加者445名!  
運動場に集合

